



- ① よきに気付き、伸びる子ども
- ② つながりを大切に伸びる子ども
- ③ 地域とつながり、伸びる子ども

小・中連携奉仕活動

7月7日(月)、八峰中1年生と八森・峰浜両小学校5,6年生全員で、ファガス下の海岸クリーンアップを行いました。8月10日(日)に行われる八峰花火フェス2025に向け、地域に貢献するべく、町内小中学校連携で行われた奉仕活動です。当日は、雄島の花火実行委員会の小野会長様はじめ、地域の方も協力くださいました。中学1年生がリーダーシップを発揮し、小学生をリードしました。ブラックサンドビーチで知られる中浜海岸には、打ち寄せられた木材に混じってプラスチックゴミもたくさん。美しい雄島と日本海を背に、たくさんのゴミを拾い集めることができました。こうした活動を通して、ゴミを捨てない、環境を守ろうとするという



意識向上につながることも期待しています。雄島花火当日には、八峰中学生有志が音楽フェスに参加し、会場を盛り上げます。迫力のある美しい雄島の花火は、子どもたちがクリーンアップしたきれいな砂浜で見ることができます。都合が付くご家庭の方は、どうか雄島の花火へ、お出かけになってみてはいかがでしょうか。きっと夏休みの素敵な思い出になることと思います。

← 集合写真・2年後は八峰中の全校生徒です！

水上安全法講習会 服のまま水に！…もしもに備える！



7月10日(木)、日本赤十字社秋田県支部の5名の水上安全法・救急法ボランティア指導員を講師にお招きし、水上安全法講習会を行いました。通常の水泳授業と異なり、水着の上に衣服を着け、どんな状況になるかを体験的に学ぶことをねらいにしています。子どもたちがまず気が付いたのは、重く動きにくいということ。無理に身体を動かそうとすると急速に体力を消耗します。岸までが遠い場合や流されている場合などには、できるだけ長く浮いて助けを求めることが命を守る上で大切です。浮きやすく、呼吸をしやすい姿勢やペットボトルを使った救助活動体験などを通して、いざというときの対処法を学びました。

明日から夏休み、大切なことは、水の危険を事前に察知し、事故を回避すること。その上で、あってほしくないことですが、災害や突発的事故などで万が一、水の危険にさらされた時には、今日の学習経験が少しでも役に立つかもしれません。本校では毎年、この講習会を夏休み前に実施しています。どうか、子どもたちが水の事故に遭わないよう地域の方も含めご協力ください。



高学年ともなれば、この通り！



友達の助けを借り、浮く練習！



1年生は、水に慣れることから！

大自然に学ぶ！5年生 宿泊体験学習へ

5年生が7月15日(火)・16日(水)に、あきた白神体験センターで宿泊体験学習を行いました。

1日目は、白瀑神社・留山散策、だまこ鍋作り、夕べの集いを行いました。2日目は、シーカヤック体験や磯遊びを楽しみました。私たちが生活している八峰町は、世界遺産白神山地をはじめ、雄大な日本海や豊かな動植物に恵まれ、この宿泊体験学習では、その素晴らしさにじっくりと触れ合うことができましたようです。5年生は、2日間を通して、時間やルールをしっかり守ることなどを体験的に学びました。また、センターの職員の皆様や白神ガイドさん、JAグランマの皆様など、多くの方々のお世話に



留山散策で大樹と遭遇



シーカヤック体験、上手です

なりながら、貴重な体験をすることができました。一泊二日のこの行事。心配しながら送り出した家族の皆様も含め、活動を支えて下さった多くの方々への感謝を忘れず、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。より頼もしくより仲のよいクラスとなった5年生の仲間たち。今後の活躍に期待しています。

まずは健康・安全第一で！ 明日から楽しい夏休み！

明日から夏休みが始まり、子どもたちが家庭や地域に帰っていきます。34日にも及ぶ貴重な時間、子どもたちは、どんな「つながり」と「伸び」を実現できるでしょうか。安全・健康を第一に、「自ら考え、行動して」素晴らしい時間を過ごしてほしいと期待しています。まずは、「早寝・早起き」を基本とする規則正しい生活リズムをキープできるかがポイントです。ついつい夜更かししたり、朝寝坊が続いたりすると、様々な面で心配です。きちんと家族と約束を確かめ、家族の一員として一定の役割も果たしてほしいと願っています。学校で配付した「夏休みの約束」や学級から配付の「夏休みの課題」などをもとに、健康・安全で計画的な夏休みになるよう、期待しています。

1学期、子どもたちは様々な「つながり」と「伸び」を見せてきました。是非、この夏休み、ご家族とのふれ合いも含め、楽しく、有意義な時間を過ごし、始業式には、とびっきりの笑顔で全校児童65名が集えるよう楽しみにしています。地域の皆様には、特に安全面でご協力、よろしく願いいたします。

ネットトラブルに要注意！

保護者が気付かないうちに児童がSNSや通信ゲーム、動画視聴、課金による深刻なトラブルに巻き込まれるケースが全国で相次いでいます。約束を決め、守らせること。定期的に通信内容や利用状況をチェックする前提で利用許可することが大切です。学校でも、「家の人に見られて困る利用の仕方はしない」よう、話しています。

次の場合は連絡を(☎77-2222 メールどちらでも)

- ★事故や事件、大きな病気や怪我があった場合
 - ★児童にとって危険な状況を察知した場合(熊・不審者・自転車・飛び出し・水や火遊び等)
 - ★困ったことや相談したいことがある場合
 - ★転校や夏休み明けの欠席がある場合。
- ※ 教職員の勤務時間外や土曜・日曜・祝日・閉庁日(8/12~8/15)は、メールで連絡ください。

ちょっと気楽に… こちょこちょ話

高校野球、本校の卒業生も大活躍でした。さて、大谷選手の振るまいが何かとニュースになる昨今、気になったのは野球とベースボールの違いです。多分に野球もまた日本的だと思うのは、「礼儀を重んじる姿勢」です。スポーツの中でも武道と呼ばれる相撲や柔道、剣道、空手には、単に勝敗を超え、互いを尊重し合うことが「型」として定着しています。アメリカ発祥の野球も日本で導入後には、試合前後の「整列・礼」がアマチュア段階から一般化される変容を遂げます。

始めと終わりを明確にし、秩序をもって試合に臨み、敬意をもった礼で試合を終える姿勢は、他国にあまり例のない所作です。学校教育での「礼」(授業や給食、清掃等)にも共通しているかもしれません。慣例的・形式的であるかもしれませんが、実は何気に深い意義がありそうです。大谷選手が打席に入る前、ちょこんと相手ベンチや主審に礼をする仕草、やはり素敵ですね。